

本質的思考



花王社長 **澤田道隆**
さわだ みちたか

大学3年生の時だったと記憶しているが、当時父が勤めていた花王石鹼(現在の花王)の丸田芳郎社長から直接お話をいただける貴重な機会を得た。大阪支社の9階にある応接室で、緊張して待っていたことを今でもよく覚えていいる。

しばらくたって応接室に入ってこられた丸田社長にごあいさつを済ませ、大学での専攻や現在取り組んでいる研究テーマなどをお話ししたところ、突然「君は化学のどのようなところが面白いのか」と問われた。予想をしていなかった質問だったので、「化学反応を駆使することによって、全く異なる性質の物質を合成できたり、形をつくれったり、色を変えられたりとさまざまな変化をつくり出すことができることがとても面白い」と、思いつくままに答えたことと記憶している。

私の答えに対し、「変化をつくり出せることへの興味はわかるが、もっと本質的に化学を考え、勉強しないといけない。物質はすべて、原子・分子でできているので、量子化学が基本である。それをしっかりと勉強すれば、なぜ変化をつくり出せるのかがわかり、より

化学を深耕できる。また、自然の摂理を理解することも本質的思考には重要である」という言葉をいただいた。その意味を十分に理解できないながら、丸田さんの崇高さを肌で感じ取った瞬間であり、この会社に入りたいと思った瞬間でもあった。

あれから、40年以上がたち、偶然にも自分が同じ立場になった。花王に入社して以来、「物事を本質的に考える」ことを忘れずに仕事に取り組み、失敗や成功を繰り返しながら社会に役立つものづくりを多少なりともできたことは感謝に堪えない。

大きな問題が起きたとき、思うように成果が出ない、アイデアが出なかったときなど、本質の上に乗った表面的なことが答えを妨げている場合が多い。一心不乱に本質にたどり着けば、一気に展望が開けてくる。そのような経験も丸田さんとの出会い、いただいた言葉があつてこそだと思う。これからも、本質的思考を忘れず、多くの人との出会いを大切にしながら、精一杯研鑽を積み重ねてゆきたい。